



新渡戸記念 中野総合病院だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

7月号

令和8年7月1日号
445号

理念

新渡戸稲造博士の精神(誠意と
思いやりの心)を基にした医療
を誠実に実践し、疾病を抱えた
人を真心で支援する

基本方針

- ① 安全で質の高い医療の推進
- ② 急性期医療の充実
- ③ 地域医療の拡充と
地域医療連携の強化
- ④ 臨床研修指定病院としての機能の充実
- ⑤ 災害時医療の拠点病院としての機能の充実
- ⑥ 職員の教養・知識・技術の向上と待遇改善
- ⑦ 経営の安定化

レーザー導入による尿路結石の治療について — 経尿道的尿路結石碎石術(TUL)のご紹介 —

泌尿器科 部長 飯村 康正

近年、尿路結石患者が増えています。当院でも
例外ではなく、尿管結石による疼痛を発症し救急
外来を受診する方が増えています。

尿路結石は、腎臓や尿管、膀胱に石ができる病
気で、突然の激しいわき腹や背中での痛みで発症す
ることが多いのが特徴です。血尿や吐き気を伴う
こともあり、日常生活に大きな支障をきたします。

診断には、尿検査や画像検査などを行います。
CT検査で、結石の大きさや位置を確認することが
できます。

結石に対する治療としては、小さな結石であれ
ば、飲水や投薬により自然排石を待つことが第一
選択となりますが、結石の大きさが大きかったり、
なかなか自然排石されなかったりするような結石
に対しては破碎治療が必要となります。破碎治療
としては、レーザーで破碎、摘出する経尿道的尿路
結石碎石術(TUL)と、衝撃波を体外から結石にあ
てて破碎する体外衝撃波結石碎石術(ESWL)が
あります(他にもありますが今回は省略します)。
これまで当院では破碎のための機器が十分でな

かったため、破碎治療が必要な患者さんをほかの
病院へ紹介することが多かったのですが、このたび、
破碎のためのホルミウム・ヤグレーザーを照射する
ことのできる機器を導入し、TULをより広い患者
さんに行うことが可能となりました。

内視鏡によるレーザー治療は、全身麻酔をした
あと、尿道から尿管鏡を挿入し、直接尿管内あるい
は腎臓内の結石を確認して、レーザーをあてること
により細かく砕くことが可能です。4日から1週間
程度の入院期間で、体への負担も比較的少なく、患
者さん一人ひとりの状態に合わせた最適な治療を
提供できるのが特徴です。

尿路結石は再発しやすい病気でもあります。日頃
から十分な水分摂取や食生活の見直しが予防には
重要です。気になる症状がある方や、過去に結石を指
摘されたことのある方は、お気軽にご相談ください。

泌尿器科では、常勤医2人体制で、専門的な知識
をもとに、安心して受けていただける治療を提供
していますので、何でも相談いただければと思い
ます。どうぞよろしくお願い致します。



東京医療生活協同組合創立94周年記念式典

東京医療生活協同組合は2026年5月27日(水)に創立94周年を迎えました。当日は、理事長・病院長・副院長・看護部長などの病院幹部出席のもと記念式典が開催されました。式典に出席した全職員が当生協創立当時に思いを馳せ、新たな決意を誓い合いました。

また、記念式典では「新渡戸記念中野総合病院賞」の第6回表彰式も行われました。今回は2025年度の実績を基に選定され、多くの入院患者を受け持って急性期医療に積極的に貢献した医師7名、救急車を数多く受け入れ救急医療推進に貢献した医師5名、数多くの手術を行い急性期医療に貢

献した医師5名、手指消毒を励行し院内感染対策に貢献した病棟および看護スタッフの各5名、リカレント教育を積極的に受講し病院の質向上に努めたスタッフの10名が表彰されました。



病診連携の会を開催しました

6月8日(月)に中野セントラルパークカンファレンスにおいて「第9回 新渡戸記念中野総合病院 病診連携の会」を開催いたしました。お忙しいなか、多くの医療機関・施設の皆様にご参加いただきました。懇親会では皆様より貴重なご意見をうかがうことができ、大変有意義な会となりました。今後も地域医療連携の強化に努めてまいります。



薬のまめ知識

薬の飲み忘れを防ぐコツ

薬剤科長 宮嶋 恵

薬は決められた時間や回数を守って飲むことで、十分な効果を発揮します。しかし、「うっかり飲み忘れてしまった」という経験がある方も多いのではないのでしょうか？

飲み忘れを防ぐには、毎日の生活習慣と結びつけることがポイントです。例えば、「朝食後」「夕食後」「寝る前の歯磨きの後」など、決まった行動のあとに服用する習慣をつけると忘れにくくなります。

また、薬を1週間分まとめて入れられる「お薬カレンダー」や「薬ケース」を使用したり、^{いっぽうか}一包化*を利用したりする方法もあります。時計や携帯電話のアラームを使うのもよい方法です。

飲み忘れに気づいた際の対応は薬によって異なります。自己判断で2回分をまとめて飲んではいけません。困ったときは、医師や薬剤師に相談しましょう。毎日の正しい服薬が、健康を守る大切なポイントです。

飲み忘れが心配な方は、どうぞお気軽に薬剤師へご相談ください。患者さんの生活に合わせた方法を一緒に考えます。

*一包化(いっぽうか) …服用するタイミングが同じ複数の薬を1回分ずつ1つの袋にまとめてバックする調剤方法のこと



病院からのお知らせ

2026年度中野区区民健診開始のお知らせ

6月1日(月)より中野区区民健診を開始いたしました。

健診事業は予約制です。

現在、予約電話が大変混み合っております。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。健診事業に関するお知らせはHPにてご確認ください。

電話予約受付時間 月曜日～金曜日のみ(祝日除く) 13時30分～16時

区民健診専用電話 03-3382-1254(区民健診直通電話)

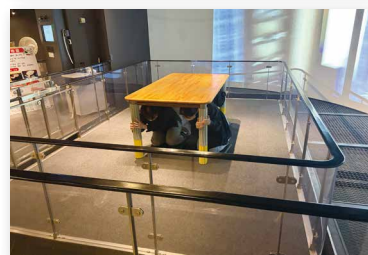
その他の健康診断受付電話 03-3382-1231(代)(健康管理課へお申込みください)

池袋防災館へ行ってきました

2026年6月15日、当生協の職員15名が東京消防庁池袋防災館「防災体験ツアー」に参加しました。

防災体験ツアーでは、VR専用ゴーグルを使用した防災疑似体験、屋内消火栓を使用した消火体験、煙が充満した空間からの避難訓練、そして東日本大震災クラスの地震を体験できる地震体験等、様々なプログラムを通じて防災を学ぶことができます。

今回のような防災体験ツアーや定期的に実施される院内の防災訓練を通じて、私たちは引き続き防災意識を高めてまいります。



旬の食材や食のまめ知識をご紹介します!

栄養科通信 56

【納豆の日】

7月10日は「納豆の日」です。納豆は大豆を納豆菌で発酵させた日本の伝統食品です。ごはんとの相性がよい「小粒納豆」、大豆の食感や風味を楽しめる「大粒納豆」、大豆を砕いて作る「ひきわり納豆」などが代表的です。それぞれ食感や味わいが異なるため、好みに合わせて選ぶことができます。

また、納豆の食べ方には地域差があることをご存じでしょうか。納豆は、醤油をかけてお好みの薬味を混ぜてごはんのにせて食べるのが一般的ですが、

北海道や東北など北国では、砂糖を加えて食べる習慣があります。

茨城の県央では刻んだ切干大根と混ぜて食べる「そぼろ納豆」のような伝統食もあります。近年では、キムチやチーズ、オリーブオイルなどを組み合わせたアレンジも人気です。

納豆は同じ食品でも、地域や家庭によってさまざまな楽しみ方があります。納豆の日を機会に、いつもとは違う種類や食べ方を試してみたいはいかがでしょうか。



「がん哲学外来」のご案内

当生協「新渡戸稲造記念センター」の樋野興夫センター長が全国に展開している「がん哲学外来」が当院でも開設されています。「がん哲学外来」は「がん」にまつわる様々な悩みを樋野興夫センター長との対話を通して解消する外来です。東京医療生活協同組合の組合員(ご家族)の方ならどなたでも無料で予約できます。

お電話で予約申し込みを受け付けています

電話 03-3382-1507

9時～16時30分(日曜、祝日を除く)

開催予定日 7/6(月)、7/7(火)、7/8(水)、7/22(水)
7/23(木)、7/27(月)、7/28(火)、7/29(水)
1回約50分(1日4組まで)



樋野興夫センター長による「言葉の院外処方箋」はこちら▶

ご意見をお寄せください

東京医療生活協同組合は、皆様のご意見を当生協の運営に活用させていただいております。皆様のご意見は右記宛先までお送りいただきますようお願いいたします。なお、ご意見をお送りいただきます際には、ご氏名に加えて必ず組合員番号(組合員証に第〇〇〇〇〇号と記載されています)をご記入いただきますようお願いいたします。

宛先

東京医療生活協同組合 渉外・広報課

住所 〒164-8607

中野区中央四丁目59番16号

メール syougai@nakanosogo.or.jp

FAX 03-3381-4799



新渡戸 の 言葉

道を行う者は、固より困厄に逢うものなれば、如何なる
艱難の地に立つとも、事の成否、身の死生杯に、少しも関
係せぬもの也。……人は道を行うものゆえ、道を踏むに
は上手下手も無く、出来ざる人も無し。……予壮年より
艱難と云う艱難に罹りしゆえ、今はどんな事に会おうと
も、動揺は致すまじ、夫れだけは仕合せ也。(『南洲翁遺訓』
第二十九)新渡戸博士が私淑した西郷隆盛の言葉です。

郷土の西郷どんを尊敬する稲盛 和夫氏(1932-2022)は鹿児島のご出身で、高い理念(経営哲学)に基づいた座標軸で常に経営判断し、苦勞を厭わず誰にも負けない凄まじい努力でJALの再建を果たしました。稲盛氏の人生哲学(philosophy)は“人生の目的は人格を高める(磨く)ことにある”という点において、新渡戸 稲造先生の考え方とはほぼ重なりと受け止めています。

「天地に対して正しいと思ふ事を行って行く、それが道であらう」「人はどう生きるのが正しいか」と問う人格教育を重んじ、生涯それを体現された新渡戸先生の哲学(行動規範)は今も生きています。

新渡戸記念中野総合病院 病院長 山根 道雄



『修養』第十三章 道

新渡戸 稲造

道といふ字を見ると、首に足(あし)をかけてある。首の走る所が道である。人が履(ふ)で行く所が道である。……各々の心の中に道がある。之を何処迄も履(ふ)むで行けば皆道である。換言すれば、個人、周囲、社会に対し天地に対して正しいと思ふ事を行って行く、それが道であらう。

